



石垣市は

今年45歳になります

【ミニミニ歴史】

昭和22年、八重山民政府が終戦後の住民の気分を刷新して、意気の昂揚を図り生産に精進させたいとの趣旨で南部琉球軍政府の認可により市制施行。

昭和25～27年にかけて自由・計画移民により西部、北部を中心に新しい集落が誕生。昭和39年大浜町を合併して一島一市になる。昭和41年美崎町、44年新栄町、53年浜崎町、63年八島町を新たに行政区に編入し現在にいたる。

昭和55年には登野城から美崎町に市役所を移転。

1992年 6月号
No.251号

平成4年6月1日発行

人口と世帯数

総人口……………42,185
男……………21,188
女……………20,997
世帯数……………14,350

(平成4年4月末現在)

市制施行45周年

7/10

市民フェスティバル・記念式典を計画

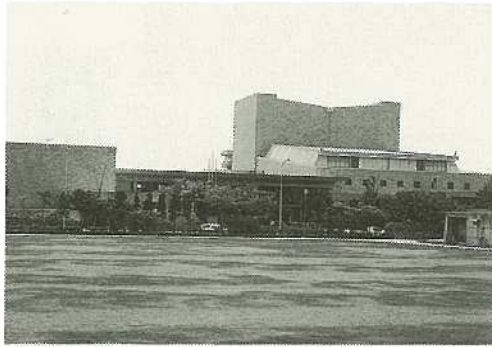
石垣市は昭和二十二年七月十日に市制を施行し、今年で四十五周年を迎えます。

市では、市制施行記念日にあたる七月十日の午後三時から市民会館において記念式典を執り行います。また、その前日の午後五時から新栄公園において、市制四十五周年を祝って市民総参加の「市民フェスティバル」を予定しています。

二・二倍の

人口増

本市は、県下十市の中で四番目の市として誕生し、市制施行時には一万八千人であった人口も、昭和三十九年には



△市民会館

大浜町と合併し、四十五周年を迎えた現在では、約四万三千人で市制施行時の約二・三倍の人口増となっています。



△市立図書館

八重山圏域の 中核都市

また、今年には沖縄が本土復帰して二十周年の節目にもあたり、去る五月十五日には宜野湾市の沖縄コンベンションセンターで県主催の復帰二十周年記念式典が盛大に行われたところでした。

本市は先人の築いてきた礎と市民のたゆまない努力によって、八重山圏域の中核都市として各種産業基盤の整備をは

じめ、交通、運輸、通信、教育、福祉等各方面にわたる基盤整備及び社会資本の充実等、着実な発展を遂げてきました。特に、空港・港湾整備をはじめ、市民会館、市立図書館等の社会施設が次々と整備され今日の隆盛を見るにいたっています。また、今年度は第三次振興開発計画の初年度にあたり、市では新石垣空港の早期着工、市民総合体育館の建設、簡易水道の一元化、コースタルリゾート等々、重大プロジェクトが計画されています。

各種イベント を予定

市制施行四十五周年をより有意義なものにするために、市では記念式典をはじめ、産業・社会・文化・スポーツ等の各種イベントを予定しています。市民総参加で四十五周年の節目を祝い、これを契機に、市民一人ひとりが島に愛着と誇りが持てるような「明るい住み良いまち——いしがき」を築きましょう。

石垣市の歴史は あなたの歴史です

昭和二十二年七月十日は、石垣市が誕生した日です。石垣市と同じ日に生まれ現在石垣市に在住している方々を紹介しましょう。

- ☆平良 重子（登野城一〇一―番地登野城団地四の二〇一）
- ☆渡眞利清江（川平一一一五番地の二）
- ☆宮良 末子（大浜二九五番地の一）
- ☆田盛 ツネ（新川四一―番地）



△港湾整備事業

悲惨な歴史を後世に

明和天津波慰霊祭

一七七一年（明和八年）四月二十四日未明、石垣島の南南東四十キロで起きたマグニチュード（M）七、四の地震により発生した大津波は、石垣島の宮良、大浜、白保、四カ字の各村と竹富町の黒島、



新城島の各島をのみこみ、九千三百十三名の犠牲者をだし、琉球列島で発生した津波のなかでは、稀有の規模であった。この未曾有の災害の歴史を後世に語り継ぐ目的で千九百八十三年、地元有志により「明和天津波遭難者慰霊の塔」が、石垣市の宮良タフナー原に建立され、以来、毎年四月二十四日に慰霊祭が挙行されてきた。

明和天津波から、二百二十一年目にあたる今年も、石垣市、竹富町、県や多数の関係者の参列のもとしめやかに行われ、市長が「明和の大津波は想像を絶する惨状だったと言われる。天災とは言え、かえすがえすも痛恨のきわみ。この悲惨な災害の歴史を人類の貴重な教訓として、永く伝えることが御霊へのせめてもの報いであり、我々の使命だと思ふ」と祭詞を読み上げ、参列者一人一人が犠牲者の冥福を祈りながら焼香しました。

フェリーターミナル完成

～波照間・与那国航路として供用開始～



△半嶺市長らがテープカット

第八次港湾整備計画五カ年計画の一環として、八島町の離島ふ頭で建設が進められていた、フェリーターミナルが三月二十五日完成し、このほど関係者多数が参列しテープカットが行われ、ターミナルの竣工を祝いました。このフェリーターミナルは「八重山は一つ」の合い言葉を具現するものとして、波照間・与那国航路の利用者の待合いや市民の憩いの場に供するために、石垣市が、総額七千万円

余で建設。式典では、半嶺市長が「近年、船舶の大型化、フェリー化に伴い貨物や旅客の増大により、港湾施設の整備が急務とされてきた。本ターミナルの完成により、八重山圏域における人的、物的流通の拠点となることを期待しています」と述べました。建物は、鉄筋コンクリート建（一階）総面積三百八十六㎡で、内部には、フェリー切符販売所・待合所・店舗・貨物室・トイレ等を配置、又、

周辺の景観にマッチするよう、屋根に赤瓦を使用、南国八重山のイメージが強調されています。

前理事長らに感謝状贈呈

名蔵川土地改良区では、五月一日、平成三年度総代会を開催しました。開会に先立ち理事長の半嶺市長が「建設途上にある名蔵川土地改良区の事業の遂行に全力をあげて取り組むつもりですので、今後ともご鞭撻、ご協力を賜りますようお願いいたします」とあいさつ、引き続き、事業経過報告や一般会計予算、特別会計予算等の承認六件、議案十一件が審議、承認されました。又、総代会において前理事長や前理事のみなさんのご功績を讃え感謝状が贈呈されました。

- 内原 英郎（前理事長）
- 田本 信精（前副理事長）
- 森永 用長（前理事）
- 後上里 茂（ 〃 ）
- 福仲 嘉一（前監事）

健やかに育てよう 明日を担う子どもたち

こいのぼり 掲揚式

五月一日から始まった児童福祉週間の一環として、民生課では、新川の児童公園で「こいのぼり掲揚式」を行いました。この日は、市内の新栄保育所・登野城保育所のチビッ子たちが大勢参加し、半嶺市長と一緒にヨイショ、ヨイショとこいのぼりを掲揚し、青空に映えるこいのぼりに歓声をあげ、大喜びでした。大空に泳ぐこいのぼりのもとでレクリエーションを楽しんだ後全員で「こいのぼりのよう



△チビッ子たちとこいのぼりを掲げる半嶺市長

に元気な明るい子になります。きょうは、ありがとうございました」と大きな声で、お礼を述べ、最後は社会福祉協議会のおじさんからおみやげを貰いました。

こどもの日のつどい

つどい

「児童は、人として尊ばれる。児童は、社会の一員として重んじられる。児童は、よい環境のなかで育てられる」という児童憲章の趣旨をふまえ、市立文化会館では、石垣市の次代を担う子どもたちに有意義な「子どもの日」となるように、五月四日文化会館ホールで「子どもの日のつどい」を開催しました。

つどいは、「こいのぼり」「手のひらに太陽を」の歌声で始まり赤山三枝子さんの歌や身ぶりをまじえたパネルシアター「きれいな窓」、人形劇「大きなおいも」、フィンガーアクション「翼を下さい」等がつぎつぎと演じられ、集まったたくさんの子どもの目をひきつけました。

最後は、八重山高校演劇部

の生徒による児童劇「桃太郎」が演じられ、ウォーウォーと赤鬼青鬼が舞台から観客席に登場すると、迫力に満ちた演技に泣きだす子も、しかし子どもたちと桃太郎が協力して鬼たちを退治すると安心するなど、終始緊張のなかにも楽しい一日を過ごしました。



△にぎわった子どもの日のつどい

昔の遊びを 子どもたちに

子どもたちに

「昔の遊びを子どもたちにとどけよう」と、石垣市レクリエーション指導者連絡協議会が、子どもの日の五月五日新栄公園で「紙ヒコーキ大会」

を開きました。昔は、休み時間を利用して教室の窓や小さい丘から、紙ヒコーキを飛ばして遊んだのだが、今は、紙ヒコーキを作ることができない子どもたちが多いことから開催されたもので、今年で三回目を数えます。又、新聞紙等に折り込まれるチラシを有効に利用してのプーメランやサバニの作り方も紹介され、慣れない手付きで紙ヒコーキ作り等に熱中していました。同公園では、八重山風愛好会も、昔ながらの伝統だこのピキダーや八角や珍しい手作りのカイトをあげ、子どもたちに喜ばれていました。



△紙ヒコーキに夢をのせて

伸びゆく子どもたちに 団体活動を

今の子ども達は、「遊びを知らない」とよく言われます。「遊ばないだけでなく、遊べなくなった」というのです。

昔の子ども達は、隣近所の子ども達みんなで遊んだものです。大きな子がカープヤーの作り方やコマの回し方を教えてくれました。しかし、今の子ども達は、テレビにかじりつき遊び仲間もつくれません。その上遊ぶ場所も次々と奪われています。成長期にある子どもは遊びを通して身体を鍛

え、耐え抜く意志を養い、集団の中で責任と協調心を培っているのではないのでしょうか。

地域ぐるみで 子どもの活動を

昔の隣組のような集団が現在の「子ども会」なのです。子ども達が、地域のなかで、年齢を問わずみんなできつくり活動する集団で、みずから楽しい集団活動を通じて心身を鍛え、社会生活を営むための



△新川 5 町内子ども会



△新川 4 町内子ども会



△石垣 1 町内子ども会



△新栄町子ども会



△高田子ども会



△双葉ゆうゆう子ども会

基本的態度や技術を身につけることを、目的とした組織的集団でもありません。しかし、子ども達だけでは、運営面等で荷が重すぎます。地域の親や大人が側面から援助することが必要です。地域の青年、婦人、老人が積極的にかかわることで子ども達の望ましい活動が開かれます。

十一の子ども会

現在、石垣市には、石垣一町内、四町内、新川四町内、五町内、新栄町、宮良赤馬、高田、三川、双葉ゆうゆう、真喜良第二団地、第三団地子ども会の十一の単位子ども会があり、地域の清掃や花づく

り、夏まつり、キャンプ等の年間を通した活動を行っています。又、石垣市子ども会育成連絡協議会では、ゴミのリサイクル運動の一つとして、「ア缶デー」やトリム一周駅伝等を開催し、子ども会の交流親睦を推進しています。

各地域で子ども会を

地域のなかで、地域住民一人一人が力を合わせて、地域の子どもの活動を援助することが、強く望まれています。今、石垣市の各町内・各字を単位として、新しく子ども会を結成しようとする気運が高まりつつあります。学校週五

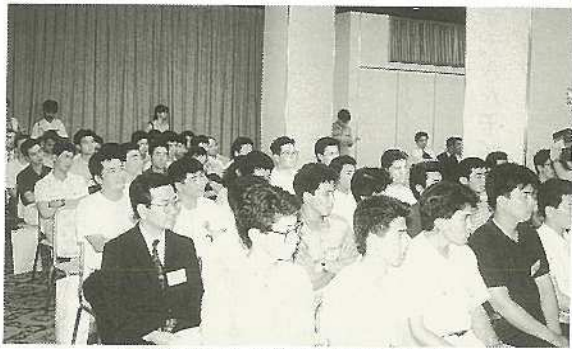
日制もいよいよ九月からスタートします。青少年の健全育成を推進する上でも、子ども達の活動について真剣に考える時期ではないでしょうか。

九州の

はるさー青年

が研修

5/12 ~ 5/14



△九州各県からの参加者たち

「語りあちち、どうしぬちやー
あちみてい 仕事ちばらな」
（仲間を集めて語りあかし、
仕事にクラブ活動に頑張ろう）
のスローガンのもと九州地区
農業青年リーダー研修会が石
垣市で開催されました。

研修会は、九州地区農業青
年クラブ連絡協議会等が主催
し、九州地区の農業青年クラ
ブリーダーが一同に集い地域
における農業青年クラブの役

割、組織活動の展開方向等に

ついて意見交換、討議を行い

友情を深め、農村地域のリー

ダーとしての自覚を図ること

を目的に開催されたもので、

開会式で半嶺市長が「昔から

農は国の基いであると言われ、

この理念は、今日どんなに科

学が進歩し、価値観が変わっ

ても、永遠に不偏である。最

近、リゾート問題が叫ばれて

いますが、第一次産業の発展

を最優先に考え、農業を守る

不転の決意が必要です。若

い農業青年たちの活躍を期待

します。又、この機会に最南

端の八重山群島の島々に足を

運び、八重山の人情、風土に

も親しく触れてほしい」と激

励しました。

参加者たちは「農業経営と

クラブ活動のあり方」をテー

マに分科会討議、「地域の活

性化と農業青年の役割」の講

演で学習したり、石垣市の農

業事情も視察しました。



△バーベキューで交流を深めるはるさー青年

又、地元の農業青年クラブ
による歓迎交流会が少年自然
の家で行われ、白保青年会や
双葉青年会の獅子舞・エイサー
が披露され、最後は全員でカ
チャシーを踊り交流親睦を
深めました。



△川嶋さん



△渡辺さん

コースタルリゾート 講演会



△多数の市民が関心を寄せた講演会

市では、平成四年三月に
「石垣市リゾート開発指針」
を策定し、広く市民の意見を
求めてきました。現在、石垣
市では北部地区や西部地区を
中心として、企業によるリゾ
ト計画がなされています。

わが国唯一の亜熱帯性気候
の石垣市は、青い空青い海の
自然景観に恵まれ、豊かな伝
統文化と心優しい人情にあふ
れ、国内外からの観光客も年々
増加の一途をたどっている。

又、日本最南端に位置して
いるため東南アジアへの玄関
的格も有している。
本市をとりまくリゾート情

勢は熾烈を極めているが、市
民レベルでのゆるやかな節度
ある開発が望まれています。

このような状況に対応して
五月十四日「八重山海洋性リ
ゾートの形成をめざして」を
テーマに、コースタルリゾ
ト講演会が市民会館中ホール
で開催され、前運輸省港湾局
環境整備課長で新潟県港湾空
港局次長の川嶋康宏氏とコー
スタルリゾート研究会企画運
営委員長の渡辺信夫氏が講演
しました。

講演会には二百名余の市民
が参加し、リゾートに対する
関心の高さを示しました。



△350名余が参加

ビーチクリーン 作戦を展開

～名蔵湾を清掃～

民間の活力をいかして、地域の活性化に繋がる運動を積極的に推進し、明るくきれいな石垣市づくりを進めることを目的に、石垣市市民憲章推進協議会ではアルソアとタイアップして、名蔵湾のクリーンアップ作戦を展開しました。十七日午前十一時三十分から約一時間、名蔵大橋を中心

に南北の砂浜や防潮林の中を徹底的に清掃。「家庭の日」とあって親子や仲間どうし、職場ぐるみ、ガールスカウト海洋少年団の子供達など三百名余が参加しました。

この日は、大潮のため広大な干潟となり、浜だけでなく干潟にある空ビンやガラスの破片、さびついた乾電池も收拾、集められたゴミの多さに参加した人々も「潮干狩やピクニック、釣りを楽しんだ後、ゴミは人目につかない所にポイ、ほんとにマナーが悪いですね」とあきれられるやら溜め息をついていた。

又、市民憲章推進協議会の顧問である半嶺市長もかけつけ「今年は市としても環境元年に位置づけてある。市民一

人ひとりの盛り上がりが大切。ゴミを拾うことを通して子供達に、ゴミをちらかさない習慣を身につけさせ、きれいな町づくりを進めて下さい」と参加した人々の労をねぎらいました。



△缶や空ビン、カラオケ等……

県教育長 と語る

と語る

石垣市を皮切りに「第一回県教育長と語る地域懇談会」が、二十二日開催され、出席した十三団体の代表者らが、「学校週五日制に向けて、学

教育委員会だより

校・家庭・行政の三者による話し合いを持ってほしい」「新川小学校の早期分離・新設に努めてほしい」「学校の授業のなかにもっと積極的に方言を取り入れてほしい」「高校生の中途退学問題について」等の意見を述べ、等、活発に討議しました。

新川二九九番地の二の糸洲マサさんが、このほど市では初めての教育委員長に就任しました。糸洲委員長は、大正十四年生まれで六十七才、父親の仕事の関係で戦前は台湾に居住、昭和十七年台北市蓬萊国民学校で教壇にたち、終戦後宜野湾の普天間小学校で教鞭をとり、昭和五十八年登野城小学校を勧奨退職するまで、三十年間教職の道一筋に生きてきました。就任にあたり糸洲委員長は「これまでの教師の経験を、教育行政に役立てればと思ひ引き受けまし

初の

女性委員長が誕生

た。教育面では特に学校教育に力を入れた。教師がもっとしっかり子供たちをひっぱってゆく必要があると思います。道徳教育も真剣に取り組みたいですね。教育行政面では現場の先生方と一緒に、地域の先生方と交流、対話を図っていききたい。とくに学校週五日制に対応して地域の母親たちの勉強会を開く等、学校・家庭・地域の連携を密にして子供たちの健全育成に努めた」と屈託のない笑顔で話してくれました。

青少年の非行問題がクローズアップした石垣市の教育環境の浄化に、女性の目からの新しい風を吹き込み、明るく住みよい石垣市づくりにむけて活躍が期待されます。



△糸洲マサさん

文化会館より

利用者の

みなさんへ

昭和四十七年、復帰と同時に「石垣市立文化会館」と名称を変更した旧琉米文化会館が、道路拡張工事のため一部解体されることになった。市民の文化・サークル活動の拠



点として、永く市民に親しまれてきました。解体工事は六月に着工し、現在の事務所と小ホールが解体され、十月頃規模を縮小し、活動を再開する予定です。

市立文化会館で活動している皆さん、しばらくの辛抱をお願いいたします。

障害児

教育を推進

適正就学指導委員を委嘱

市教委では、欠員や人事移動に伴い、心身障害児適正就学指導委員をあらたに委嘱しました。委員は、石垣市心身障害児適正就学指導委員会条例に基づき委嘱されたもので、特殊教育を要する心身障害児の判定や障害児教育を推進することが任務。新委員は次の方々です。

- ・ 渡慶次賢康 (石中校長)
- ・ 宮国キヨ子 (新小教諭)
- ・ 松原美佐子 (名蔵小教諭)
- ・ 宮城 弘典 (八養校長)
- ・ 平松 一志 (八養教諭)
- ・ 石垣 朝子 (市教委)



「年を忘れ、時を楽しみ、汗して踊る我等民踊愛好会の仲間です」昭和五十八年三月、会員十数名で結成。現在前新科子会長を先頭に百余名の会員を有する市内でも大所帯の民踊愛好会。「いつでもどこでも、だれでも和気あいあいと踊れる仲間づくり」をモットーとし、踊りの輪を広げ、人の和、地域の活性化に役立つことを目的として活動中。毎月第一水曜日と第三土曜日に市立文化会館で心地よい汗を流している。会員のほとんどが婦人のみなさんで、気心の通い合った仲間同志、踊りの間のユンタクタイムでは、ホール一杯に笑い声が溢れるほど明るいサークルだ。踊りを通して、会員自らの健康づくりはもとより社会的

① 石垣市民踊愛好会

福祉的行事やスポーツ行事、青少年健全育成のための催し等にも積極的に参加、ボランティア精神も旺盛だ。会の特徴は

「会員の明るく前向きな各種行事への参加態度が、趣味の広がりや創意に結びついている」と紹介。

これまで、ファミリートライアスロン大会、社会を明るくする運動、更生婦人会資金造成芸能大会、防犯協会発能フェスティバル大会等に協賛・出演するなど積極的に活動を展開。

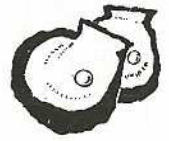
もっか六月に行われる「全琉民踊フェスティバル」、今年十一月の結成十周年記念発表会に向けて練習に励んでいる。

〔会の連絡先〕

TEL 二二二九二 (前新科子)



おたより



市貝・クロチョウガイ

県市町村母子保健担当者 及び母子保健推進研修会 ～体験発表より～

母子保健推進員
長田直子

ケーランネーラ クヨウマ
ナーラ

石垣の方言で、みなさんこ
んにちわという意味です。

私は、小学五年生を頭に、
小学二年、幼稚園児の三人の
子育ての傍ら、PTA活動、
コーラスのサークル活動、ミ
ンサー織と忙しく飛び回って
いる頃、母子保健推進員への
誘いの声がかかりました。活
動の内容をあまり知らず、た

だ、乳幼児の身体測定や予防
接種のお手伝い等が、主な活
動と思い本当に気軽な気持ち
で引き受けました。活動を始
めてからもうすぐ二年になり
ます。毎月行われる学習会で
は、母子保健推進員の役割、
妊婦訪問の仕方、予防接種の
正しい知識、人形を使つての
計測の方法、乳幼児の発達及
び病気、訪問をする上での注
意事項等などの学習をしまし
た。そのたびに役目の重要さ
を知り、本当に私に出来るか
と不安になりましたが、引き
受けたからには、ベストを尽
くして頑張らねばと決意を新
たにしたものです。

私の受け持ち地区は、石垣
市の中心地で、商店街や歓楽
街が大半です。商店街は私の
生まれ育った地域ですので知
人も多く、気軽に声をかける
ことが出来ます。又「パンチャ
ヌ マーヌ ケンシン ヤ
イツドゥ ヤロールカヤ(う
ちの孫の検診はいつ頃かね)」「
風邪をひいているが予防接
種は受けられるかね」とか子
供や孫の事を心配して、尋ね
てくれる方もあり、すごく活
動しやすい地域です。一方、

歓楽街一帯は、アパート・マ
ンションも多く名称が変わつ
たり、住人の転入転出も頻繁
です。アパート名や表札、郵
便受け等もない所が多く、近
所づき合いも少なく訪問先を
探しあてるのに時間がかかり
ます。やっと見つけても留守
が多く、その住人に会うこ
とは、容易ではありません。
健康審査の勧めや予防接種に
ついて、いろいろ話したい事
があるのに何度訪問しても会
えず連絡もつかずもどかしさ
がつる一方です。健康審査
や、母親学級等のお知らせは



△母子保健推進員の皆さんと(右から二人目が長田さん)

通知が行っている事だし、きつ
と検診には来てもらえらと思っ
ていても、受診してもらえな
い場合にはガツカリさせられ
ると同時に、心が痛み活動の
難しさを感じます。

さて石垣市は、平成二年に
母子保健推進員活動で団体表
彰を受けた事があります。母
子保健活動は、地域に根ざし
家庭のすみずみまで浸透して
います。そういう地域の中で
母子保健推進員活動は必要な
のだろうか。専門的な資格が
ある訳でもないのに、地域の
お母さん達のお役に立てるこ
とがあるだろうか。ちょうど
その頃、母子保健推進員の研
修会に参加させて頂く機会に
恵まれ、他市町村の母子保健
推進員の体験発表で、私と同
様、苦勞や悩みの多い仲間が
いることを知りました。研修
会終了後、母子保健推進員会
議の斉田栄吉事務局長にお会
いすることができ、日頃の悩
みをお話しました。母子保健
推進員誕生のいきさつは、山
形県の田舎でなかなか会えな
い妊産婦の訪問を地域の人達
に連絡係として助けてもらっ
たのが始まりです。母子保健

推進員活動が地域に根ざして
いる所では、若い母親達を導
く事は大変でしょう。でもこ
んな世の中だからこそ、忘れ
られた郷土の良さ、郷土の行
事、郷土の料理等を教え育て
てゆき地域の顔になった時、
初めてやりがいのある事に、
気付くのではないのでしょうか。
もう少し時間をかけてかかわっ
てあげて下さい」とやさしい
励ましのお言葉を頂きました。
又その研修会で地域の保健
婦さんや市の母子係との連携
が如何に大切であるかを学ん
だ事は、今も私の心に強くや
きついています。今後は、こ
れまでの失敗を糧にして連携
を密にした活動をしようと思
いました。

先日、離乳食実習の場で
「ひとり分のおかゆ面倒くさ
いわ」というAさんにジャ
ーの中にお茶碗を入れておかゆ
を作る簡単な方法を教えてあ
げました。その事がきっかけ
で東京から引越して来たばっ
かりで友達も出来ず、淋しい
毎日を過ごしていると悩みを
話してくれました。「あなた
歌は好き。週一回だけどあな
たと同じ月齢の子を持つ若い

お母さん達も来ますよ、きつとお友達になれると思うし、ストレス解消にもなると思います。ぜひいらっしゃい」Aさんの淋しさが少しでもまぎれ、石垣島を好きになったら良いのにと心ひそかにおもい、声をかけました。最近表情も明るくなって育児に精を出しているAさんを見て、趣味のサークル活動が、意外なところで役に立ったと嬉しくなりました。

人と人との触れ合い、出会いを大切にしながら、昨日よりは今日、今日よりは明日へと、一步一步前進し、頑張っていきたいと思えます。

市職員

人事異動

平成三年五月十一日付け
 ▼水道課副主幹(兼)工務係長・出向 宇根守男(土木課副主幹(兼)維持管理係長)
 ▼土木課技師・出向 玉城正文(水道課技師) ▼同課維持管理係長 石垣里一(同課技師) ▼都市計画課主査 慶田盛伸(企画室主査)

人権を守って 明るい社会をつくりましょう

六月一日は、人権擁護委員法が施行された日です。昭和二十三年政令に基づいて、人権擁護委員制度が設けられ、翌二十四年六月一日に人権擁護委員法が施行されました。国民の基本的な人権を擁護し見守る、いわば民間人による人権の番人の機関が誕生したのです。これが人権擁護委員制度の始まりです。

人権は、人間が平和に生きて行く上で、最も大切な権利です。自分だけでなく、あなたも私もみんな人権が尊重されなければなりません。お互

いに人権を守って明るい社会をつくりましょう。

石垣市には、法務大臣から委嘱された次の人権擁護委員がいます。相談は無料で、秘密は守られますので、お気軽にご相談下さい。

- ・黒屋清(大川四二番地の二)・宮良長政(新川四二三番地の一)・豊川善相(登野城三七六番地の二)・内原勇(白保一四六番地の一)・浦本成子(大川三九五番地)・山城京子(大川三三番地)・山田隆一(美崎町七番地の四)・宜野座安祐(新川四五番地の一)

ご苦労さま 細谷医師

～謝状を贈呈～

平成元年六月三日、本市の救急診療所の医師として赴任した細谷正己医師が、このほど退職されました。
 細谷医師は、満三年にわたる長い間、市民の救急診療業務に従事し、病気の治療・予防はもとより、産業医として市職員の健康管理や各種スポーツイベント等の救急医として

も積極的、献身的にとめられました。

退職するにあたり、半嶺市長がこれまでの細谷医師の功績に対して深く感謝の意を述べ、感謝状を贈呈いたしました。

細谷医師、ありがとうございました。お疲れさまでした



予防接種の種類と受ける時期

種類	区分	接種時期	接種回数	
定期接種	小児マヒ(ポリオ)	生後3カ月～48カ月	6週間以上の隔週で2回(春・秋)	
	麻疹	1期 生後12カ月～72カ月	1回	
	ジフテリア百日せき破傷風(DPT)	1期	生後24カ月～48カ月	3～8週間隔で3回
		2期	1期完了後12～18カ月の間	1回
	ジフテリア破傷風	1期	生後24カ月～48カ月で百日せきにかかった幼児及び生後48カ月～72カ月でDPTを受けていない幼児	3～8週間隔で3回
		2期	1期完了後12～18カ月の間	1回
3期		小学校6年生	1回	
臨時接種	B C G(結核)	生後12カ月～48カ月	但しツ反応後陰性者のみ1回	
	風しん(3日ハシカ)	中学校2年生(女子)	1回	
臨時接種	日本脳炎	初回	生後36カ月	1～2週間隔で2回
		追加	初回終了後1年あと	1回
		継続追加	追加のあと毎年(満15歳まで)	1回
インフルエンザ		保育所・幼稚園・小学校・中学校(満3歳～15歳)	1～4週間隔で2回(毎年接種)	



△感謝状を贈呈する半嶺市長



△ハイッ ア〜ン 歯は大切にね

六月四日は、「むし歯予防デー」です。
八重山地区歯科医師会では小中学生の「よい歯のコンクール」それにちなんだ作文・ポスターの入賞者の表彰、高校生の健全歯保持者の市長賞の表彰、さらに高齢者を対象とした「八〇二〇運動」の表彰、及び歯の衛生思想の普及向上を図るため「デンタルフェア」を開催します。
むし歯予防に心掛け、早期発見、早期治療にとめましょ



デンタルフェア

六月四日は、「むし歯予防デー」です。

又、当日は歯に関する相談も行いますので、気軽にお越し下さい。
▼とき 六月十四日(日) 午前十時〜午後四時
▼ところ 石垣市民会館中ホール
▼受付期間 平成四年六月五日(金)〜六月十九日(金)

海上保安庁職員募集

▼職種
船艇職員 航海科・機関科
航空機職員 飛行科・整備科
無線従事者 通信・技術
▼受験資格
①船艇職員 昭和二十八年四月二日以降に生まれた者で次の免許を有する者。
航海科 五級海技士(航海) 以上
機関科 五級海技士(機関) 以上
②航空機職員 昭和三十三年四月日以降に生まれた者で、次のイからハに該当する者
イ 高等学校を卒業した者又は平成四年九月までに卒業見込みの者若しくはこれと同

等と認められる学歴を有する者
ロ 飛行機又は回転翼航空機の事業用操縦士の資格以上の技能証明を有する者
ハ 採用時において有効な第一種航空身体検査証明を有する者
③無線従事者 昭和二十八年四月二日以降に生まれた者
次のイ及びロに該当する者
イ 高等学校を卒業した者又は平成四年九月までに卒業見込みの者若しくはこれと同等と認められる学歴を有する者
ロ それぞれ次の資格を有する者
通信 第二級総合無線通信士以上
技術 第二級総合無線通信士又は第二級陸上無線技術士以上
▼試験日
第一次 六月二十八日(日)
第二次 六月二十九日(月)
▼試験場
第十一管区海上保安本部
▼問合せ先
石垣海上保安部管理課総務係
☎二一四八四〇



'92赤十字国際標語 災害に備えて守る尊い生命-赤十字 赤十字社員募集運動実施中

みなさんこそって赤十字社員に加入を!!



赤十字事業につきましては、日頃から深いご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

ご承知のように赤十字は、世界的なもので、人道的任務達成のため災害、救護、血液事業、ガン検診業務等、市民の福祉増進に寄与しております。つきましては、何かと出費の多い折ですが、赤十字社員に加入していただき、赤十字事業を盛り育てて下さるようお願い致します。

なお、区長及び赤十字奉仕団が皆様のお宅をお訪ねした時は是非とも暖かいご協力をお願い申し上げます。

赤十字の業務は、石垣市役所民生部民生課で取り扱っています。☎2-9911(内線272~3)

日本赤十字社沖縄県支部

石垣市地区長 半 嶺 當 泰

みなさんからいただいた資金は次のような事業につかわれます

- 赤十字講習会 いざというとき、すぐに役立つ知識と技術を……
- 赤十字奉仕団活動 赤十字の思想の普及や災害時の救護活動、地域の必要に応じた社会福祉活動、献血推進活動など。愛の手を……
- 国際活動 人間性豊かな児童・生徒の育成を
- 青少年赤十字活動 *血液センターの経営 *沖縄赤十字病院の経営
- 血液事業と医療事業 *あなたの献血が命を救います。
- 救護看護婦の養成 親しまれ信頼される看護婦をめざして
- 災害救護 災害にあつた人々に救護の手を……

寄付金と免税

赤十字に対する寄付金は、法人は勿論、個人の場合も免税の特典があります。また、相続財産が寄付されたときも免税となります。

市民の

ひろば

水道週間

六月一日～七日

「安心です。水道の水ですうまいです。」をスローガンに水道週間が始まります。

日頃、飲み水、洗濯等、いろんな所でお役に立っている水道水ですが、これを機会に今一度、水道について考えてみてはいかがでしょうか。

水道についてのお問い合わせは

市水道課 ☎三三四〇四三

電波利用保護旬間

六月一日～十日

無線機は正しい機械を使い電波はルールを守り正しく使しましょう。又、不法無線局の開設、運用は法律で罰せられます。

電波障害については

沖繩郵政管理事務所

☎〇九八―八六五―二三〇九

月例税務相談

六月十日 午前十時～

(市民会館、展示室)

問い合わせは、税務課へ

☎二一九九―一(二四二)

戦没者追悼式及び

平和記念式

六月二十三日

・ 平和の鐘、鐘打式

・ 追悼式及び平和記念式

午後一時 八重守之塔

戦争で亡くなられた方々の

ご冥福を祈るとともに、平和

の尊さを、今一度見つめ直し

ましょう。

市民多数の参加をお願いします。

詳しくは民生課へ

☎二一九九―一(二七二)

ろうあ者

社会生活教室

六月二十六日 午後七時～

市立図書館視聴覚室

テーマ「聴力障害者に関する福祉サービス」

福祉サービス」

詳しくは

石垣市福祉事務所

☎二一五〇四五

今月のイベント

ハリー(海神祭)

六月四日 午前八時～

石垣漁港浜崎町側

海の安全と豊漁を祈願する海人達の年に一度のお祭りです。男たちの勇壮なカイさばき、女たちのガリー、響きわたるドラ、太鼓。みんなで一緒に応援しよう。

マンタピア八重山'92

六月二十八日 午前十時～

八島町(離島桟橋)

国際親善ハリー・水上綱引き・宝さがし等楽しいプログラムがいっぱい。

お願い

※「市民のひろば」へ情報をお寄せ下さい。

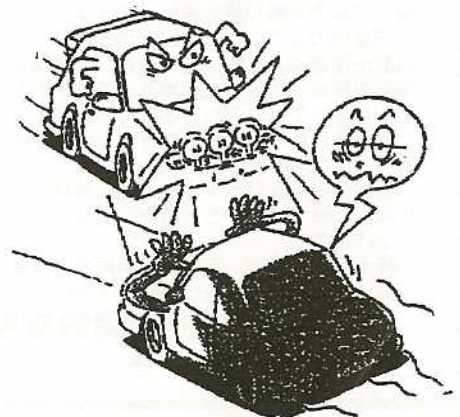
集会・講演会等の行事の

情報提供をお願いします。

企画室 広報係まで

交通安全と
公害防止のために

しない
させない
不正改造!



今月の市民会館

大ホール

連絡先

14日	映写会(アリランの歌・沖縄からの証言)	県職労八重山支部	2-2810
21日	創成流石垣京子演歌日舞研究所発表会		2-8329
25日	八重山農林高校映画鑑賞会		2-3955
28日	箏(宮良まさみ箏曲研究所)		2-2137

中ホール

7日	銀行業務検定試験	銀行業務検定協会 03-3267-4821
13日	救急処置法講習会	私設保育園連絡協議会 2-9118
14日	デンタルフェア (よいこの作品展示及び表彰)	石垣市教育委員会 2-4701
15日	専門学校進学ガイダンス	琉球放送株式会社 098-867-2151

展示ホール

10日	税務相談	税務課	2-9911
20日	パッチワークキルト展	コットンショップミル	2-7975